



洪水ハザードマップとは

●近年の豪雨災害を受け、河川整備の目標とする降雨「計画規模降雨」に対し、想定される最大の降雨「想定最大規模降雨」が設定されました。

●この地図は、本瀬川などの富山県が管理する河川の流域に「想定最大規模降雨」によって河川が増水し、堤防が決壊（破綻）した場合の浸水予測結果に基づいて、浸水する範囲と被害の大きさを示したものです。

●流域（降る雨）が、対象の河川に流れ込む範囲の24時間総降雨量が右の表に想定してシミュレーションを行っています。

●水害の恐れがあるときは、市が発令する「高齢者等避難」や「避難指示」に従い、速やかに避難してください。

●「緊急安全確保」が発令された場合や逃げてきた場合は、無理をせず高い安全な所などに場所を移動してください。

布施川流域	24時間総降雨量 787.0mm 水田・畑・田舎外も含む
川貝川流域	24時間総降雨量 708.0mm 水田・畑・田舎外も含む
月見川流域	24時間総降雨量 813.0mm
早月川流域	24時間総降雨量 796.0mm 水田・畑・田舎外も含む
東又谷水流域	24時間総降雨量 810.0mm
小川川流域	24時間総降雨量 813.0mm
南又谷水流域	24時間総降雨量 813.0mm
大田川流域	24時間総降雨量 813.0mm
大田川流域	24時間総降雨量 813.0mm
入川流域	24時間総降雨量 813.0mm

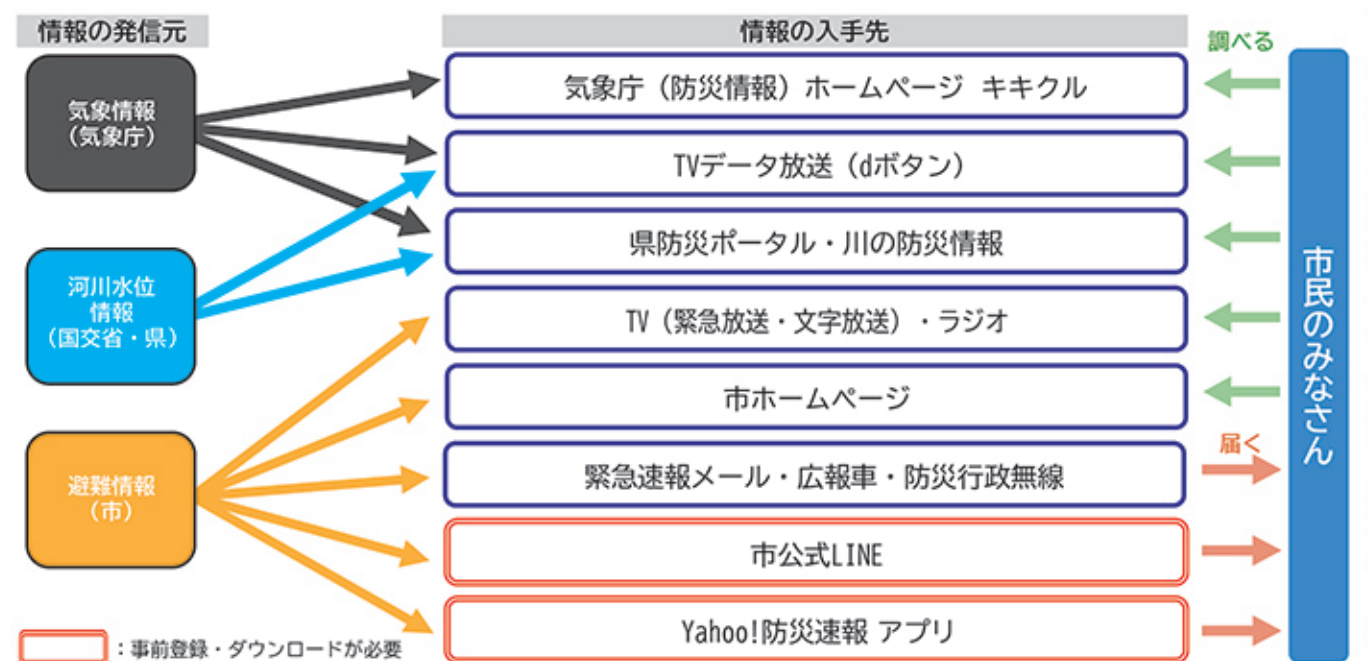
・片貝川(川口平河町水戸12)日本川の急流河口で、昭和27年昭和44年豪雨で水害が発生している。昭和27年7月豪雨では片貝川の堤防が決壊、片貝・加地郡間で橋梁の流出、床上床下浸水、田畑が荒れなどの被害を受けた。(昭和47年 津島史実・津島市)

●鴨川、川面が狭く流れも速く、水害被害が頻発発生している。平成10年7月豪雨では、津島市中心街において、床上床下26戸、主要道路の通行止めなどの被害が発生した。平成26年7月豪雨では、津島市中心街において、床上浸水3戸、床下浸水123戸の被害が発生した。(平成30年 地域防災計画・津島市)

●角川は津島市街地を流れているために、昔から洪水のたびに被害が発生。近年では昭和27年、39年、44年に特に大きな被害を受けた。昭和39年7月豪雨では(角川)下流域で避難命令が出された。(昭和39年 山陰・北陸豪雨速報：富山地方気象会)



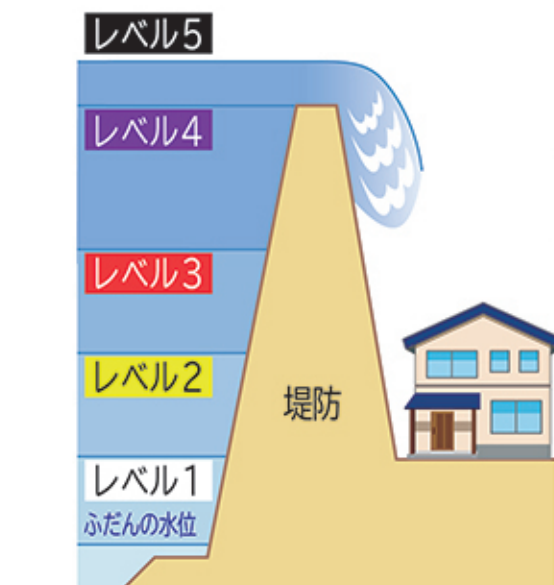
災害時に備えて、避難情報等の入手方法を確認しましょう。
登録等が必要なものは、登録を済ませ情報を受け取ることができるように準備しておきましょう。



自治体や気象庁等から発表される防災情報について、住民の方へその行動を直感的に理解しやすいよう、5段階の警戒レベルを明示して防災情報が提供されることとなります。

自治体から避難指示や高齢者等避難が発表される際には速やかに避難行動をとってください。また、避難指示等が発表されていなくても、警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表されたときは、キルギス川の水位情報等に基づき自らの避難の判断をしてください。

避難にあたっては、あらかじめ指定された避難所へ向かうことに加わらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点での最善の安全確保行動をとることを重要です。



	河川氾濫 1級河川などの 大川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大雨以外での氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩壊や 土流	高潮 海水面上昇や 波浪上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動	発令される情報
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
＜警戒レベル4 までに危険な場所から、かならず避難＞						
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒	速やかに安全な場所 に避難する	避難指示 危険な場所から 全避難！
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒	避難に時間を要する人は 避難する	高齢者等避難  危険な場所等は 高齢者等避難！
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意	レベル2 大雨注意	レベル2 土砂災害注意	レベル2 高潮注意	ハザードマップなどで 避難行動を確認する	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める	－

災害用伝言ダイヤル（171）のご利用方法

- ① **1 7 1** にダイヤル
ガイダンスが流れます
- ② 録音する場合 **1** 再生する場合 **2**
ガイダンスが流れます
- ③ 電話番号を入力
(■■■■■■■■■■)
被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話番号の電話番号を市街局番からダイヤルしてください。

災害用伝言板（web171）のご利用方法

- ① <https://www.web171.jp> にアクセス

- ② 電話番号を入力
(■■■■■■■■■■)
被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話番号の電話番号を市街局番から入力してください。
- ③ 画面の指示に従って文字による伝言を登録

① <https://www.web171.jp>
にアクセス

② 電話番号を入力
() -
被災地の電話番号・携帯電話・PHS
IP電話の電話番号を市街局番から
力してください。

- 毎月1日・15日
- 正月三が日（1月1日～3日）
- 防災とボランティア週間（1月15日～21日）
- 防災週間（8月30日～9月5日）

※ 指定避難所には被災者などが無料で利用できる災害時用公衆電話（衆電話）の回線を事前に構築して指定避難所が開設された際には施により電話機が設置され利用可能です。

名 称	電話番号 (市外局番0765)
魚津市役所	23-1010
富山地方気象台	076-432-2311
富山県新川土木センター	22-9114
新川厚生センター・魚津支所	24-0359
富山県東部消防組合消防本部	24-0119
魚津消防署	24-7980
魚津警察署	24-0110
NTT西日本	113
北陸電力	0120-837-119
富山労災病院	22-1280

自主防災組織とは、「自分達の地域は自分達で守る。」ために自主的に結成する組織で、災害による被害を防止し軽減するため、初期消火、避難誘導等の活動を行う組織です。地域にお住いの皆さんも一緒に、防災訓練等の自主防災組織の活動に参加していただき、防災意識を高め、お互いに助け合う協力体制を構築し「災害に強いまちづくり」に取り組みましょう！

- 地域版防災マップの作成・運用
- 地域の防災訓練、防災講習会の実施
- 高齢者、幼児等の要配慮者への避難支援
- 地域の災害危険箇所の把握、点検（地域住民への周知）



1 自宅を見つめよう	2 避難する場所を確認しよう	3 安全な避難経路を決めよう
自宅の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。	自宅の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。	自宅から避難所までの避難経路を、魚津市ホームページや国土地理院が公表している重なるハザードマップを参考に考えましょう。川・山の近くを渡るルートは危険なので避けましょう。



足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上ではわからない危険が潜んでいるかもしれません。



害時の行動について家族と話し、書き込んでみましょう。



学校や近所で災害について話し合うことも大事です。いざという時は周りの人と協力して避難しましょう。

20.0m 2階以上	
20.0m	
10.0m 2階屋根以上	
5.0m 2階の天井程度	
3.0m 1階の天井程度	
0.5m 大人の膝程度	

浸水深

	浸水深 20.0m～
	浸水深 10.0～20.0m
	浸水深 5.0～10.0m
	浸水深 3.0～5.0m
	浸水深 0.5～3.0m
	浸水深 0～0.5m

 早期の立退き避難が必要な区
(河川浸食、氾濫等、浸水深3.0m以上)

 土砂災害警戒区域
 土砂災害特別警戒区域

※詳細は「土砂災害ハザードマップ」をご確認下さい。



非常持出品 いざというときにあわてないように準備しておきましょう

貴重品 ☐ 身分証明書 ☐ 健康保険証 ☐ 印鑑 □ 通帳 ☐ 現金（小銭を含む）	医薬品類 ☐ 常備薬 □ マスク ☐ 消毒液 ☐ おくすり手帳 ☐ 体温計	重さの目安 
小道具具類 ☐ 懐中電灯 □ ラジオ ☐ 電池 ☐ 携帯電話、充電器	袋類 ☐ ゴミ袋、レジ袋 ☐ チャック付きビニール袋	水・食料等 ☐ 飲料水 ☐ 非常食 

☐ ティッシュ ☐ 軍手 ☐ スリッパ ☐ 生理用品
☐ ウェットティッシュ ☐ 雨具、防寒着 ☐ レジャーシート ☐ 筆記用具
☐ タオル ☐ 下着・上着等の着替え

- ☐ 水
- ☐ 缶詰
- ☐ アルファ化米
- ☐ インスタント食品
- ☐ 卓上コンロ、ガスボンベ

■ 非常持出品の確認

避難所生活の感染症対策として、できる限り備えておきましょう。

- ☐ 不織布マスク
- ☐ 手指消毒剤
- ☐ 除菌アルコールシート
- ☐ 体温計



■ 避難所での過ごし方に注意しましょう

- ☐ 避難の際はマスクの着用
- ☐ 避難所に入る前に、検温、体調のチェック
- ☐ こまめな手洗い、咳エチケットの徹底
- ☐ 他の避難者との距離を十分にとる

ローリングストックとは、日常から食べやすい日持ちする食品や生活用品を少し多めに買い置きし、古いものから消費して、使った分だけ新しく買い足してゆく備蓄の考えです。この方法と日常生活の中で無理なく備蓄できます。

買い足しながら備蓄をキープ

1 備える

2 備える

3 買い足す

4 使う

足りないものがないか定期的に確認
日持ちする食品を少し多めに買い置き

期限の近いものから
日常の中消費

足しながら
をキープ

1 備える

Rolling Stock
(循環備蓄)

2 使う

3 買い足す

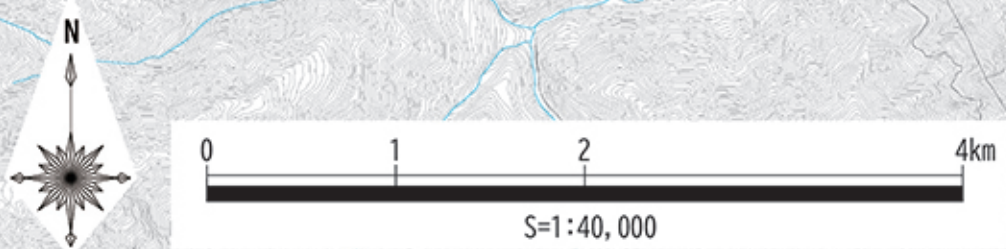
期限の近いものから
日常の中で消費

※ 状況により開設されないことがあります

No	地区	避難所施設名称	所在地	洪水	土砂災害
1	大町	旧大町小学校	本町1-10-39	2階以上	○
2	大町	大町コミュニティセンター	本町1-1-10	2階以上	○
3	村木	村木コミュニティセンター	村木町1-21	○(床下浸水)	○
4	下中島	星の杜小学校	住吉203	2階以上	○
5	下中島	下中島コミュニティセンター	鹿野172-2	○(床下浸水)	○
6	下中島	新川文化ホール	宮津110	2階以上	○
7	下中島	北陵職業能力開発大学校	川線1289-1	2階以上	○
8	上中島	旧上中島小学校体育館	吉野1263	○	○
9	上中島	上中島コミュニティセンター	下椿8	○	○
10	松倉	旧松倉小学校体育館	鹿熊11	2階以上	○
11	松倉	旧松倉保育園	金山谷2899-2	2階以上	○
12	上野方	上野方コミュニティセンター	大海寺野1373-1	○	○
13	上野方	桃山運動公園	出字桃山36	○	○
14	本江	よつば小学校	本江1041	○(床下浸水)	○
15	本江	西部中学校	友道212	○(床下浸水)	○
16	本江	本江地域交流センター	友道1375-1	○(床下浸水)	○
17	本江	魚津市立図書館	本江1940	○(床下浸水)	○
18	片貝	片貝コミュニティセンター	島尻818	2階以上	○
19	加積	清流小学校	吉島432	2階以上	○
20	加積	東部中学校	吉島1934	2階以上	○
21	加積	加積コミュニティセンター	六郎丸1062	○(床下浸水)	○
22	加積	魚津高校	吉島945	○(床下浸水)	○
23	加積	新川高校	吉島1350	2階以上	○
24	道下	道下小学校	北鬼江2741	○(床下浸水)	○
25	道下	道下コミュニティセンター	北鬼江2-14-15	○(床下浸水)	○
26	道下	ありそドーム	北鬼江2898-3	○(床下浸水)	○
27	経田	経田小学校	浜経田665-3	○(床下浸水)	○
28	経田	経田コミュニティセンター	浜経田466	○(床下浸水)	○
29	経田	魚津工業高校	浜経田3338	3階以上	○
30	天神	新川学びの森天神山交流館	天神野新147-1	○	○
31	天神	天神コミュニティセンター	天神野新220	○	○
32	天神	新川みどり野高校	木下新144	2階以上	○
33	西布施	西布施地域活性化センター	長引野1290-3	○	○

魚津市 避難情報等の防災情報等 魚津市	魚津市緊急情報 配信サービス 気象注意報、警報、 特別警報等の配信サービス 魚津市	富山防災WEB 天気・気象情報、雨量、 河川水位、公共交通、道路、 土砂災害情報等 富山県	川の防災情報 河川水位、雨量、河川カメラ、 ダム運轉等 国土交通省
重なる ハザードマップ 住所等から、 洪水・土砂災害等の 身の回りの災害リスクを調べる 国土交通省	防災ネット富山 河川情報、道路情報等 国土交通省	防災情報 気象防災、地震・津波、 天気予報等 気象庁	富山地方気象台 防災気象情報、天気予想、 地震情報等 気象庁

名 称	電話番号 (市外局番0765)
魚津市役所	23-1010
富山地方気象台	076-432-2311
富山県新川土木センター	22-9114
新川厚生センター・魚津支所	24-0359
富山県東部消防組合消防本部	24-0119
魚津消防署	24-7980
魚津警察署	24-0110
NTT西日本	113
北陸電力	0120-837-119
富山労災病院	22-1280



ハザードマップに関する問合せ先
建設課：23-1029
防災に関する問合せ先
防災安全課：23-1078